



平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月4日 東

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所
 コード番号 3660 URL <http://www.istyle.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第1四半期の連結業績 (平成27年7月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	3,121	48.8	498	174.3	490	177.0	493	437.2
27年6月期第1四半期	2,098	26.0	181	268.4	177	266.0	91	695.8

(注) 包括利益 28年6月期第1四半期 413百万円(—%) 27年6月期第1四半期 11百万円(△52.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	17.20	16.81
27年6月期第1四半期	3.15	3.09

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第1四半期	7,812	4,840	61.6
27年6月期	6,925	4,465	64.2

(参考) 自己資本 28年6月期第1四半期 4,814百万円 27年6月期 4,445百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成27年6月期の配当金については当該株式分割前の実際の配当金額、平成28年6月期(予想)の配当金については当該株式分割後の配当金額を記載しております。

3. 平成28年6月期の連結業績予想 (平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	19.0	1,150	80.4	1,138	76.0	854	143.9	29.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成28年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年6月期1Q	30,070,000株	27年6月期	30,050,000株
② 期末自己株式数	28年6月期1Q	1,367,436株	27年6月期	1,367,268株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年6月期1Q	28,695,025株	27年6月期1Q	29,208,102株

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年7月1日～平成27年9月30日)の業績は、下記のとおりです。

売上高	3,121,758千円	(前年同期比	48.8%増)
営業利益	498,452千円	(前年同期比	174.3%増)
経常利益	490,505千円	(前年同期比	177.0%増)
税金等調整前四半期純利益	667,036千円	(前年同期比	278.6%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	493,500千円	(前年同期比	437.2%増)

なお、平成27年7月30日付「特別利益の計上に関するお知らせ」で開示いたしましたインドネシアの子会社であるPT. Creative Visions Indonesiaの売却を平成27年9月に行ったことにより、特別利益176,531千円を計上しております。

各セグメントの業績につきましては、以下のとおりです。

①マーケティング事業

当セグメントには、国内外でのマーケティング事業、プレミアム会員向けサービス等が属しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、主要サイトである「@cosme」の広告収益も順調に成長いたしました。また、前年に引き続きクライアントの大型イベント開催による一時的な収益増が見られました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,334,305千円(前年同期比19.5%増)、セグメント利益は330,415千円(前年同期比192.3%増)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間において、PT. Creative Visions Indonesiaの全株式を譲渡したことにより、当第1四半期連結会計期間末をみなし売却日として連結の範囲から除外しております。このため、当第1四半期連結累計期間においては、当第1四半期連結会計期間末までの損益計算書についてのみ連結しております。

また、当第1四半期連結会計期間において、株式会社メディア・グローブの株式を取得したことにより、当第1四半期連結会計期間末をみなし取得日として連結の範囲に含めております。このため、当第1四半期連結会計期間においては、当第1四半期連結会計期間末の貸借対照表についてのみ連結しております。

②小売事業

当セグメントには、国内外における化粧品ECサイトの運営、化粧品専門店「@cosme store」の運営、海外向けの化粧品卸売事業が属しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、EC・店舗売上共に順調に成長いたしました。店舗につきましては、既存店の売上が順調に成長したことに加え、8月に当社グループがプロデュースする「@cosme×LABI Beauty station」LABI新宿東口店がオープンいたしました。

海外向けEC・卸におきましては、販売チャネルの増加や、第2四半期に予定されている「独身の日(11月11日)」と呼ばれる中国のEC会社が販売を強化する日に備えた一時的な出荷増により、大きく売上が伸びました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,615,301千円(前年同期比93.3%増)、セグメント利益は154,379千円(前年同期比139.3%増)となりました。

③美容事業支援事業

当セグメントには、エステサロン情報を提供する「isport」、美容業界に特化した求人サービスを提供する「アットコスメキャリア」等が属しております。

前期に引き続きエステサロン等の契約店舗に対して、ライフタイムバリュー向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は172,151千円(前年同期比18.0%増)、セグメント利益は15,155千円(前年同期はセグメント損失3,046千円)となりました。

④投資育成事業

当セグメントには国内外の美容領域で活躍する企業を中心とした投資・育成事業が属しており、創業間もない企業も含め、幅広い成長ステージの企業に投資をしております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、保有株式の売却がなかったため売上は0円(前年同期実績なし)、セグメント損失は4,287千円(前年同期実績なし)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ886,813千円増加し7,812,805千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ848,779千円増加し5,596,825千円となりました。これは主に、現金及び預金が293,614千円、受取手形及び売掛金が260,340千円、商品が231,862千円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ38,033千円増加し2,215,980千円となりました。これは主に、無形固定資産が113,503千円増加したものの、投資その他の資産が53,315千円減少したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ512,266千円増加し2,972,774千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ600,033千円増加し2,433,618千円となりました。これは主に、短期借入金が600,000千円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ87,767千円減少し539,155千円となりました。これは主に、長期借入金71,871千円減少したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ374,547千円増加し4,840,031千円となりました。

これは主に、利益剰余金が467,037千円増加したものの、その他有価証券評価差額金が52,745千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年7月30日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の当第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、のれん17,402千円及び資本剰余金19,622千円が減少するとともに、利益剰余金が2,220千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ981千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,565,854	2,859,469
受取手形及び売掛金	1,238,033	1,498,373
商品	412,016	643,878
営業投資有価証券	361,759	370,534
その他	215,392	268,618
貸倒引当金	△45,010	△44,049
流動資産合計	4,748,045	5,596,825
固定資産		
有形固定資産	368,314	346,159
無形固定資産		
のれん	76,783	98,013
ソフトウェア	589,601	550,611
その他	89,785	221,049
無形固定資産合計	756,171	869,674
投資その他の資産		
投資有価証券	743,215	678,970
その他	310,245	321,175
投資その他の資産合計	1,053,461	1,000,146
固定資産合計	2,177,946	2,215,980
資産合計	6,925,992	7,812,805

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	497,627	695,469
短期借入金	—	600,000
1年内返済予定の長期借入金	320,820	312,487
未払法人税等	140,802	154,574
賞与引当金	72,855	59,607
その他	801,479	611,480
流動負債合計	1,833,584	2,433,618
固定負債		
長期借入金	595,179	523,308
その他	31,744	15,847
固定負債合計	626,923	539,155
負債合計	2,460,507	2,972,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,591,194	1,592,194
資本剰余金	1,528,118	1,509,496
利益剰余金	1,235,095	1,702,133
自己株式	△283,565	△283,700
株主資本合計	4,070,842	4,520,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	259,082	206,337
為替換算調整勘定	115,659	88,514
その他の包括利益累計額合計	374,741	294,851
新株予約権	19,900	20,818
非支配株主持分	—	4,239
純資産合計	4,465,484	4,840,031
負債純資産合計	6,925,992	7,812,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,098,125	3,121,758
売上原価	848,618	1,307,210
売上総利益	1,249,506	1,814,547
販売費及び一般管理費	1,067,820	1,316,095
営業利益	181,686	498,452
営業外収益		
受取利息	912	409
投資有価証券評価益	—	2,430
その他	2,032	649
営業外収益合計	2,944	3,489
営業外費用		
支払利息	1,092	1,239
為替差損	3,769	6,588
投資有価証券評価損	1,665	—
持分法による投資損失	—	3,035
その他	1,028	573
営業外費用合計	7,556	11,436
経常利益	177,075	490,505
特別利益		
関係会社株式売却益	—	176,531
特別利益合計	—	176,531
特別損失		
事務所移転費用	868	—
特別損失合計	868	—
税金等調整前四半期純利益	176,207	667,036
法人税等	84,287	173,535
四半期純利益	91,919	493,500
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	91,861	493,500

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	91,919	493,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77,187	△52,745
為替換算調整勘定	△2,784	△27,145
その他の包括利益合計	△79,971	△79,890
四半期包括利益	11,947	413,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,889	413,610
非支配株主に係る四半期包括利益	58	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (千円)
	マーケティング事業 (千円)	小売事業 (千円)	美容事業 支援事業 (千円)	投資育成 事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	1,116,771	835,502	145,851	—	2,098,125	—	2,098,125
セグメント間の内部 売上高又は振替高	650	—	471	—	1,121	△1,121	—
計	1,117,421	835,502	146,322	—	2,099,246	△1,121	2,098,125
セグメント利益又は損失 (△)	113,046	64,513	△3,046	—	174,513	7,173	181,686

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額7,173千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、経営管理区分を見直し、経営情報をより適切に表示するために、当第1四半期連結会計期間から報告セグメントを従来の「メディア事業」、「EC事業」、「店舗事業」及び「その他事業」の4区分から、「マーケティング事業」、「小売事業」、「美容事業支援事業」及び「投資育成事業」の4区分に変更しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (千円)
	マーケティング事業 (千円)	小売事業 (千円)	美容事業 支援事業 (千円)	投資育成 事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	1,334,305	1,615,301	172,151	—	3,121,758	—	3,121,758
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,957	6	261	—	27,226	△27,226	—
計	1,361,262	1,615,308	172,413	—	3,148,984	△27,226	3,121,758
セグメント利益又は損 失(△)	330,415	154,379	15,155	△4,287	495,662	2,790	498,452

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額2,790千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

平成27年9月11日付で株式会社メディア・グローブの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより、「マーケティング事業」セグメントにおいてのれんが44,234千円増加しております。

「(会計方針の変更)(企業結合に関する会計基準等の適用)」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間から「企業結合に関する会計基準」等を適用し、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第1四半期連結累計期間において、「美容事業支援事業」セグメントで17,402千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(ストック・オプションの発行)

当社は、平成27年9月29日開催の定時株主総会において、会社法第236条、第238条及び第239条の規定に基づき、当社及び当社子会社の従業員に対し、ストック・オプションとして新株予約権を無償で発行すること及びその募集事項の決定を当社取締役会に委任することを決議いたしました。この委任に基づき、平成27年10月1日開催の臨時取締役会において第10回新株予約権、平成27年11月2日開催の臨時取締役会において第11回新株予約権の募集事項を決定し、当該新株予約権を引き受ける者の募集をすること等につき決議し、以下の通り対象者に割り当てられました。

なお、当社は平成27年10月1日付をもって普通株式1株につき2株の割合で、株式分割を実施しております。このため、下記の各数値については、当該株式分割による影響を加味した分割後の数値にて表示しております。

1. スtock・オプションとして新株予約権を発行する理由

当社及び当社子会社の従業員の業績向上に対する意欲や士気をより一層高め、企業価値の増大を図ることを目的として、当社及び当社子会社の従業員に対して新株予約権を無償で発行するものであります。

2. 新株予約権の総数

(1) 第10回新株予約権

650個 (新株予約権1個当たりの目的となる株式数 100株)

(2) 第11回新株予約権

150個 (新株予約権1個当たりの目的となる株式数 100株)

3. 新株予約権の割当の対象者及びその人数並びに割り当てる新株予約権の数

(1) 第10回新株予約権

割当の対象者	人数	割り当てる新株予約権の数
当社従業員	9名	450個
当社子会社従業員	4名	200個

(2) 第11回新株予約権

割当の対象者	人数	割り当てる新株予約権の数
当社従業員	1名	100個
当社子会社従業員	1名	50個

4. 新株予約権の目的である株式の種類及び数

(1) 第10回新株予約権

当社普通株式 65,000株

(2) 第11回新株予約権

当社普通株式 15,000株

5. 新株予約権の払込金額

金銭の払込みを要しないものとする。

6. 割当日

(1) 第10回新株予約権

平成27年10月16日

(2) 第11回新株予約権

平成27年11月4日

7. 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

割当日当日の終値又は割当日の直前月1ヶ月における平均株価終値の1.05倍のいずれか高い金額

8. 新株予約権の権利行使期間

(1) 第10回新株予約権

平成29年10月17日から平成32年10月16日まで

(2) 第11回新株予約権

平成29年11月5日から平成32年11月4日まで